



平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成31年2月13日

上場会社名 アーキテック・スタジオ・ジャパン株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6085 URL http://www.asj-net.com/  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 丸山 雄平  
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員 管理本部長(氏名) 山口 裕司 (TEL) 06-6363-5701  
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無 ( )

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	799	△12.0	△97	—	△100	—	△101	—
30年3月期第3四半期	909	△2.1	△128	—	△109	—	△110	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
31年3月期第3四半期	△63.15		—					
30年3月期第3四半期	△69.06		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第3四半期	935	725	77.6
30年3月期	1,164	827	71.1

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 725百万円 30年3月期 827百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
31年3月期	—	0.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,300	1.0	30	—	30	—	28	—	17.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

31年3月期3Q	1,614,750株	30年3月期	1,614,750株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

31年3月期3Q	3,625株	30年3月期	104株
----------	--------	--------	------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

31年3月期3Q	1,612,276株	30年3月期3Q	1,605,776株
----------	------------	----------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料の2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続き、各種政策効果もあって景気は緩やかな回復基調にはあるものの、海外経済や金融資本市場における不確実性等、先行きは依然不透明な状況となっております。

住宅業界におきましては、平成31年10月に予定される消費税率引上げに伴う経過措置等への関心も想定されるなか、新設住宅着工戸数はおおむね横ばいの状況で推移いたしました。

このような状況の中、当社は建築家情報空間「ASJ CELL」を中心に建築家による作品展示会や各種セミナー等を引き続き実施し、イベント来場者や提携先等の紹介によって獲得した富裕層を中心としたアカデミー会員へ当社が直接プロデュースを行うことで、より顧客満足度の高いサービスを提供し受注促進を図ってまいりました。

また、ホームページにおける顧客サービスサイトの機能と価値向上に努め、ウェブユーザーへの需要喚起と新規アカデミー会員の獲得に注力いたしました。

しかしながら、スタジオの新規加盟契約の伸び悩みと既存スタジオの退会により、スタジオネットワークビジネスに係る業績は低調に推移いたしました。

当第3四半期累計期間においては、主として加盟スタジオにおける工事請負契約の獲得が前年同期を下回り、工事請負契約ロイヤリティ売上が前年同期に比べ減収となりました。また、加盟スタジオによるイベント開催数等の減少もあり、売上高は799,695千円（前年同四半期比12.0%減）となりました。

損益面については、販売費及び一般管理費の削減に努めましたが、営業損失は97,790千円（前年同四半期営業損失128,008千円）、経常損失は100,717千円（前年同四半期経常損失109,796千円）、四半期純損失は101,815千円（前年同四半期純損失110,894千円）となりました。

なお、当社はASJ建築家ネットワーク事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期会計期間末における総資産は935,245千円となり、前事業年度末と比べて228,925千円減少いたしました。

流動資産は前事業年度末に比べ、253,555千円減少し、742,691千円となりました。これは主として現金及び預金の減少120,205千円、売掛金の減少68,943千円、未収入金の減少38,160千円等によるものであります。

固定資産は前事業年度末に比べ、24,630千円増加し、192,553千円となりました。これは主にソフトウェア開発に伴うソフトウェア仮勘定の増加12,844千円等によるものであります。

当第3四半期会計期間末における負債合計は209,311千円となり、前事業年度末と比べて126,986千円減少いたしました。これは主に未払金の減少81,534千円、その他負債の減少30,714千円等によるものであります。

当第3四半期会計期間末における純資産は725,933千円となり、前事業年度末と比べて101,939千円減少いたしました。これは主に四半期純損失101,815千円を計上したことによるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成30年5月14日に公表いたしました業績予想から変更はございません。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成30年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	553,072	432,867
売掛金	240,869	171,925
商品	3,432	4,860
未収入金	147,824	109,663
その他	73,218	53,951
貸倒引当金	△22,169	△30,576
流動資産合計	996,247	742,691
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品(純額)	—	656
有形固定資産合計	—	656
無形固定資産		
ソフトウェア	—	4,203
ソフトウェア仮勘定	—	12,844
無形固定資産合計	—	17,048
投資その他の資産		
差入保証金	109,467	114,319
その他	75,950	72,267
貸倒引当金	△17,494	△11,738
投資その他の資産合計	167,923	174,848
固定資産合計	167,923	192,553
資産合計	1,164,170	935,245
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	22,097	10,664
未払金	197,285	115,751
未払法人税等	6,136	3,185
賞与引当金	3,643	5,095
工事完成保証損失引当金	6,462	4,655
その他	100,673	69,958
流動負債合計	336,297	209,311
負債合計	336,297	209,311
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	427,755	427,755
資本剰余金	426,685	426,685
利益剰余金	△26,415	△128,231
自己株式	△151	△274
株主資本合計	827,873	725,933
純資産合計	827,873	725,933
負債純資産合計	1,164,170	935,245

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	909,011	799,695
売上原価	147,319	121,723
売上総利益	761,692	677,972
販売費及び一般管理費	889,700	775,763
営業損失(△)	△128,008	△97,790
営業外収益		
受取利息	211	210
保険返戻金	18,789	2,278
その他	11	0
営業外収益合計	19,012	2,489
営業外費用		
前払費用一時償却額	—	5,416
株式交付費	800	—
営業外費用合計	800	5,416
経常損失(△)	△109,796	△100,717
税引前四半期純損失(△)	△109,796	△100,717
法人税、住民税及び事業税	1,098	1,098
法人税等合計	1,098	1,098
四半期純損失(△)	△110,894	△101,815

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。